

四日市大学留学生新聞

編集部：王 金栄（経営4年） 車 丹丹（経営3年） ユディ・ヌガラハ（総合3年） 卓 少輝（経営2年）
顧 幸佳（経営2年） 凌 青（経営2年） 朴 慶姫（メディア2年） アソクタバ（メディア2年）



よんよん祭の予告

四日市大学大学祭は10月23日、24日に行うこととなり、皆さんのためにスペシャル企画ができました。声だけで泣けると言われる奥華子が来ます。聴いた瞬間から心に染み入るメロディと歌詞、まっすぐな歌声は老若男女問わず幅広い世代の人々から支持を集めています。よんよん祭にさわやかな歌声が響き渡ります。

スペシャル企画以外には、Hand in hand という手作りの小物販売があります。きっと可愛いものをみつけられるでしょう。美術クラブの皆さんは七宝焼きの創作をします。どんな作品がつけられるのか、期待できそうです。ボランティア活動ではあなたが最初の一步を踏み出すことを待っています。ボランティア活動を応援してください。中国の留学生とベトナムの留学生は、各国の料理を作って、大学祭を盛り上げます。どんなおいしい料理を作ってくれるのか、楽しみです。

環境情報学科2年 齊 鑫

パネルディスカッションのお知らせ

留学生国際交流企画
「持続可能な多文化共生を考える」
2010年10月24日(日)
パネルディスカッション(一般公開)
10:00~10:50 ADV 教室

外国人が、日本の社会で、日本人と同じ“住民”として生活していくために、お互いにどんなことが必要でしょうか。どんなことが問題になり、誰がどのようにそれを解決すればいいのでしょうか。文化の違いや言葉の違い、日本での留学生活で様々な経験をする中で、皆さんはどう考えますか？

このたび、留学生支援センターでは、学内外の日本人の方のご協力を得て、多文化共生について考えるディスカッションを実施することになりました。実務経験豊かな本学の先生方に、パネリストとしてご参加いただき、多文化共生について語ってくださいます。貴重な機会ですので、ぜひ、皆さんで誘い合ってご参加ください。

コーディネーター

岩崎恭典総合政策学部教授

パネリスト

富田与経済学部教授
千葉賢環境情報学部教授
小林慶太郎総合政策学部准教授
西牧義江暁学園理事長補佐

留学生支援センター 樋口 晶子



平成 22 年度私費外国人留学生奨学金のお知らせ



留学生を対象とした奨学金が給付されました。一昨年から続く世界的な経済不況の中、三重県私費外国人留学生奨学金受給者が新たに決まり、国際ソロプチミスト三重様から変わらぬご支援をいただきました。また、1年生二人を含めた3名が、第6回留学生による日本再発見の旅—宗村南男留学生奨学金「Discover Japan」を受賞し、研修旅行を実施しました。

受賞者の皆さん、おめでとうございます！

＊私費外国人留学生学習奨励費〔文部科学省〕

平成 22 年度受給者（1 年間）28 名

平成 22 年度後期受給者（6 ヶ月間）1 名

＊三重県私費外国人留学生奨学金〔三重県〕平成 22 年度合格者

エムティ ホック モビナル（メディアコミュニケーション学科 4 年）

朱 雲鵬（経営学科 3 年 シュ ウンホウ）

閻 暁丹（総合政策学科 2 年 エン キョウダン）

蔣 蕊（環境情報学科 2 年 ショウ ズイ）

林 燕（総合政策学科 2 年 リン エン）

＊国際ソロプチミスト三重奨学金〔国際ソロプチミスト三重〕

ダン・ティ・ロアン（経済学科 1 年）

＊第 6 回留学生による日本再発見の旅—宗村南男留学生奨学金

「Discover Japan」

鐘 暁声（経営学科 3 年 ショウ ギョウセイ）

黄 雲竜（経済学科 1 年 コウ ウンリュウ）

劉 成超（経営学科 1 年 リュウ セイチョウ）

第 6 回 Discover Japan 受賞者レポート 「和歌山への旅」

経営学科 1 年 劉 成超



工業や科学技術をはじめ、様々な分野でアジアの一位を占めている日本は、歴史文化や自然風景などでも世界中に注目されています。＜中略＞今回、和歌山への旅が良い経験になったのはもちろん、勉強にもなったと思います。まず友ヶ島で明治時代から第 2 次世界大戦が残した砲台跡や、兵器、神跡などの歴史を見学しました。友ヶ島には戦後から今までの間に緑濃い照葉樹林が茂り、様々な植物、磯の生き物などが生息し、めずらしい岩石や地層などが見られ、まさに自然の宝庫でした。観察している最中、ごみを拾うために活動をしにきた小学生たちを見ました。彼らの姿を見ると、自然環境を守ることは小さいことからできるということを深く感じました。

友ヶ島の後、今から 1240 年近く昔、唐僧、為光上人によって開基された紀三井寺に行きました。＜中略＞日本の仏教は中国の唐朝から伝わったということを知りました。和歌山への旅は友ヶ島から紀三井寺まで、豊かな自然を守ること、日本仏教の歴史などの勉強になりました。

研修旅行

今年、私は四日市大学に入学して、もう、前期が終わりました。色々なことが勉強できました。大学生として初めての夏休みも終わりました。早く終わったけれども、すごく楽しいかったです。一番楽しくて、たくさん思い出に残っているのは、大学の「留学生研修旅行」に参加したことです。

それは、2泊3日の旅で、短いと思ったけれども、この短い時間だけで色々なところに行きました。美しい景色もたくさん目にしました。今度の旅はみんなと一緒に「金沢と白川郷と高山」に行きました。

はじめの日、私たちは金沢に行って、金沢の城下町で金箔工芸を体験しました。自分の箸を作ることができて楽しかったです。

次の日、私たちは世界遺産の合掌造り白川郷を見学しました。この人たちの家は全部木で造られ、木から造られたけれども釘を一本も使っていない、本当にすごい技術でした、自分でも驚いて、いろいろな新しいことを知って、楽しかったです。高山、ここは最後の訪問地でした。ここでは、昔から残っている古い建築の家がいっぱいあります。ほんとにきれいな町です。もう一つの忘れられないことは食べ物です。本当に美味しかったです。

今度の研修旅行に参加してよかったと思います。勉強しながら楽しく遊んでもいいと思います。もし、来年こういう研修旅行があったら、私はまたぜひ参加したいと思います。

環境情報学科1年 チャン ジェップ



私が一番びっくりした所は、妙立寺（忍者寺）と呼ばれる前田家の祈願所として建立された四階七層建の寺です。隠し部屋や階段もすごく複雑で、部屋数は23、階段数は29もあって驚きました。そして、トヨタ白川郷自然学校で、自然を学びながら熊がいる森のなかを歩いてきたことも忘れられないです。

私にとって夏休みの研修旅行はいろいろな体験をして、みんなと交流できて、美しい風景も感じる事ができて良かったと思いました。

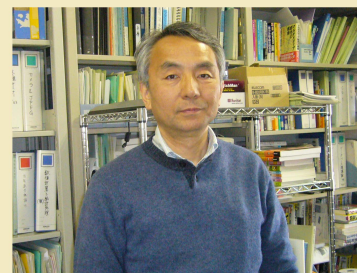
経営学科2年 チェリー・トン

今年の夏休みは、来日してから四度目の夏休みでした。いつもの夏休みはアルバイトと勉強だけで過ごしていましたが、今年はいつもと違って学校の研修旅行へ行くことにしました。せっかく日本にいるうちに、日本国内のいろいろな所へ行きたいと思っていましたが、なかなか行けなくて残念だったからです。学校からの企画があったおかげで、金沢や白川郷や飛騨高山へ二泊三日の旅行ができました。

最初の日、福井県にある、国の天然記念物にも指定されている北陸屈指の景勝地という東尋坊へ行きました。東尋坊大池の風景の美しさは、今でも頭の中に残っています。それに、自分で箸作りに挑戦することもできて、とても面白い体験でした。

みなさん、こんにちは。本年度から留学生支援委員になりました環境情報学部の井岡幹博です。環境情報学部では、コンピュータグラフィックスやデータベース、プログラミングなど情報のアプリケーション科目を担当しています。配当年次が2年次以降の科目が多いので、環境情報学部の学生でもなじみが薄く、留学生はあまり受講してくれません。是非、受講してください。でも、とても難しいです。セミナーでは、一昨年、昨年と留学生弁論大会を、情報技術を使ってインターネット上にライブ放送を実施してきました。母国で弁論大会の様子を見られた人がいるかもしれません。残念ながら、今回の弁論大会は時期が早まったこともあって、放送ができませんが、機会があればまたやってみたくと思っています。セミナーでは、デジタルビデオに関することやデータベースに関することなどいろんなことをやっていますので、是非一度見に来てください。

留学生支援委員 井岡 幹博



井岡先生



SCHOOL FESTIVAL

文化祭



9月17日、四日市大学の留学生として、暁高校の文化祭に参加しました。私にとって、それは特別な経験でした。

映画やドラマなど日本の作品の中で、文化祭の話はよく出てきます。文化祭は日本の学校の生徒と教師、社会人などと交流する機会です。今年、暁高校文化祭のテーマは「いのちいっぱい～誰よりも、あなたらしく」です。生徒たちはこれについて、いろいろな考えで取り組み、様々な場面で彼らの活力が現れました。

私たちは中国の地域文化をテーマにして、日本の人々に紹介しました。今年はちょうど上海で万国博覧会を開催しています。みなさんから上海万博についてたくさんのことを聞かれました。もちろん、上海人として私は喜んで一つずつ答えました。また、天津や内モンゴルのお菓子を販売しながら、みなさんとの交流もできました。

文化祭の一日は忙しく楽しく過ごしました。私はそこで日本の高校生から活気をもらいました。彼らは情熱的で、無邪気で、他人を喜んで助け、自分らしく生きています。今回の文化祭に参加して、本当に良かったと思います。異国に住んでいる私たちも前を向いて、精一杯頑張らなければなりません。

経営学科2年 凌 青

クラブの紹介

皆さん、こんにちは。英語クラブです。私たちは毎週月曜日と木曜日に、9号館4階9407教室にてダイク先生と一緒に日常英会話を覚えたり、TOEIC対策をしています。最初は、小さい声でしか話せなかった皆ですが、映画の話などになると盛り上がり、楽しんでいきます。もしも、TOEICを受験したいけれど申し込み方法や勉強方法などが分からないという方がいましたら、ぜひ私たちと一緒に勉強しませんか？

現在大学祭に向けて準備をしています。飾り付けをダンボールで作っています。クレープを販売しますので、ぜひ私たちに会いに来てくださいね。お待ちしております。

経営学科2年 白井 佐季子



Eボートへの参加

International Students Communication



今年のEボート交流会は、お天気も良く、とても楽しかったです。私は、去年も参加したので、今年は二回目でした。去年、私はBoatの一番後ろに座って、Boatの進んでいく方向を見る担当でした。今年は、一番前に座り、Boatの進む方向を指示をすることになりました。どちらも大変でしたが、とてもよい経験となりました。集合時間も早く、朝早く起きるのがちょっと大変だったので、夜バイトから帰ってからずっと寝ないで、朝までそのまま起きていました。そして集合場所に行きました。その日はとても暑い日だったので、とても疲れました。でも、学校関係以外のたくさんの人たちと出会い、知らなかった新しいことを聞いたり、いろんな話ができて、とても良い交流ができたと思います。

環境情報学科2年 ルパック シュレスタ

スピーチ大会

Speech Contest



私は皆の前で発表することが好きで、日本に来て以来、よくスピーチコンテストに参加しました。最初、日本語が上達するために、毎回のスピーチを大事にして練習しました。しかし、スピーチすることは、私にとってただ日本語の勉強をするだけではなく、もっとも私の自分らしい見方を表しています。皆さんに理解してもらいたいです。社会に出ても、大学生時代で皆さんに何かを残したいです。今後も大学のスピーチコンテストに出ますので、皆さんが来てくれれば、うれしいと思います。

これからも、私はスピーチを続けてまいります。ぜひ応援をよろしくお願いします。

経済学科3年 ゲン ディン ソン



10月2日に、四日市市民活動センターで四日市市民大学が開催され、「多文化共生の扉をひらく」の「四日市大学留学生との懇談会」に参加しました。それは四日市の一般市民が、留学生が何を求めて日本に来るのか、どのような生活をしているのかなどを知るために参加される、留学生についてのさまざまな事柄についての懇談会でした。

進行は市民からの質問によるやりとりのかたちで行なわれました。私たち留学生は自分の国のこと、日本についての思い、学校と普段の生活、四日市の思いなどについてそれぞれの考えを発表しました。最初はすごく緊張しましたが、会場

のみなさんは興味を持って大変親切に質問をしてくださったので、緊張感はだんだん和らぎました。

私たちの気持ちが、本当に市民のみなさんに伝わったかどうかが一番心配です。

しかし懇談会が終わったら、市民のみなさんからいろいろと話しかけてくれて、安心しました。私たち留学生に期待されていることが感じられ、四日市の市民の優しさを改めて感じました。これからは四日市のために、どんな小さいことでもいい、四日市市民の期待に応えるため一生懸命頑張ります。

経営学科3年 車 丹丹



市民大学の 紹介



グローバル人材の 育成と活用

10月8日午後、学内で経済学部の学生を中心に、「グローバル人材の育成と活用」というテーマについて、企業、大学、行政機関から10人の方々が講演をしていただきました。学生の参加はもちろん、学外からのお客様もいらっしゃいました。意見交換会も含めて5時間と長時間にわたるプログラムでしたが、皆さんは最後まで参加し、大変貴重な時間でした。

ご存知のように、グローバル化が進む日本では、就職氷河期が再来し、2010年春新卒求人倍率は1.62倍にも低下し、大変厳しい状況になっています。しかし、日本の政府は2020年に留学生30万人を受け入れるという計画もあります。今後、日本で就職する留学生がますます増えるはずですが、本学の留学生は288人もいます。このフォーラムをきっかけにして、留学生及び日本人学生が卒業後グローバル人材として国内外でもっと活躍するため、社団法人中部産業連盟による「四日市大学グローバル人材のためのキャリア支援プログラム」も始まります。私も、アジア人財資金構想の3期生として、このプログラムに参加しました。学生の皆さんもぜひ積極的に参加してください。きっといい勉強になると思います。

経営学科4年 王 金栄



資格欄

学内で実施する、資格へのチャンス

四日市大学では、学生の皆さんが公的資格を取得するための、様々な支援をしています。資格は、就職や進学のための強いアピールポイントになるばかりではなく、自分の実力を伸ばし、自信をつけるためにも重要です。

いくつかご紹介しますので、ぜひ、チャレンジしてください。

留学生支援センター 樋口 晶子

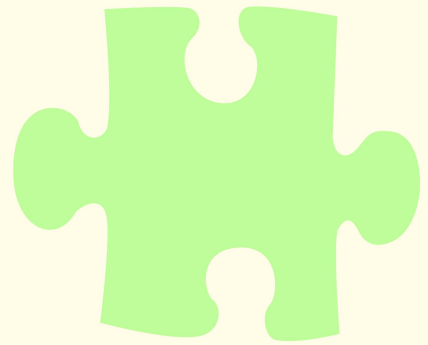
日本語能力試験対策講座

日本語能力試験N1の合格をめざし、2ヶ月間にわたって徹底的に試験対策を指導します。

受講は留学生のみを対象とし、無料です。「文字・語彙」「文法」「読解」の3つの領域の標準的なテキストを使用する講座で、主として3年次生を対象としますが、他の学年も受講可能です。

次回12月5日実施の試験を目標に、全9回で実施します。

《実施日程》9月28日(火)～11月30日(火)の毎週火曜日16:20～17:50



TOEIC団体受験と特別対策講座

English Support Lounge(ESL)では、毎年2回、学内でTOEIC団体受験を実施しています。団体受験なので公式証明書は発行されませんが、自分の力を把握して英語の学習につなげるには最適です。就職活動などの場合は、団体受験の結果を受理してくれることもあります。

受験料は大学からの補助もあるため、本学の正課学生であれば、2000円で受験できます(協会の行うTOEIC公開テストの受験料は5985円)。

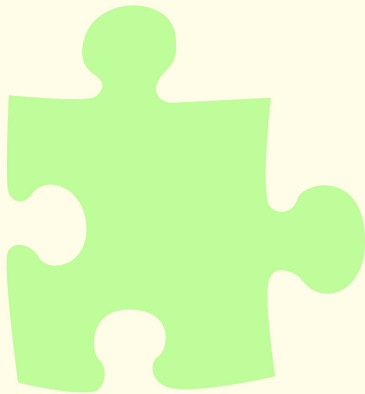
さらに、TOEICを受験するための直前対策講座も実施しています。希望者を対象に、教員がTOEIC受験のためのテクニックや試験の特徴を、実際に問題を解きながら指導します。

MOS(マイクロソフト オフィスペシャリスト)の学内試験

就職・仕事に役立つ情報系資格として注目されるMOSの試験を定期的に学内で実施しています。MOSの試験とはワード・エクセル等のオフィス製品について、操作スキルを評価する実技試験ですが、本学の教室で実施するので、自分が慣れた環境で受験できることが強みです。

8月に実施した第1回試験では、60パーセント以上の高い合格率でした。2回目は10月に実施予定で、すでに申込は締め切っていますが、今後も引き続き実施する予定です。

《実施日程》(詳細な日程は、決まり次第大学ホームページ及び学内掲示板に掲載)





私は高橋ゼミの徐 飛です。私のゼミは環境保全技術を勉強し、研究テーマは1. 地下水汚染の解明 2. 廃棄物の有効利用技術 3. 河川海域の浄化です。普段は実験室で授業をし、大気水質や、廃棄物処理とか色々な勉強をしています。そして、今回、ゼミでは夏休みを利用し、上海万博に行ってきました。上海出身の私は皆さんを案内しました。ゼミの先生と学生5名、8月26日から30日まで4日間で行きました。二日間万博に行って、人があまりにも多いので、人気のある日本館や、中国館などでは、ほとんどの場合、4時間ぐらい並ぶ必要がありました。その時、上海の気温は35度ぐらいで、一日40万人の来場者があったので、私たちは暑さと人混みを避けるため、バスや船に乗って、会場一周の観光をすることにしました。会場は広くて綺麗に作られています。ヨーロッパやアジアやアフリカなどをきれいに分けて、美しいかったです。

皆さんも、もしチャンスがあれば是非行って見て下さい。中国で、万博を見るなんて本当に信じられなくて、とても嬉しかったです。そして、日本人学生たちと交流ができて、皆さんに中国を紹介し、日中交流に少しでも力になれば、大変幸せだと感じています。本当にいい経験でした。皆さん、ありがとうございました。

環境情報学科3年 徐 飛

四日市のとんてきをB-1へ

B-1グランプリに初参加して感じた事として、「食」でこれだけの人を集めることができることに本当に驚きました。参加団体数、お客さんの数もそうですが、ボランティアスタッフの人数も多く、自分たちを含め参加団体の人達はとても助かったと思います。

とんてきを提供している側としては、1日目は目標である2200食を売り切り、追加販売するほどでした。この時、明日売る肉はあるのか...と心配するほどでした。

2日目は昨日の反省を活かし、もっと効率よくできるように鍋や盛り付けの配置を変えたりしました。その結果、前日の売り上げをはるかに越え、お客さんもあまり待たせることなくうまく循環しました。

問題点として2日とも1度だけ肉の解凍が間に合わずそこからうまく循環しなくなり、お客さんを待たせる場面もありました。しかしこの失敗は、来年に繋がるものだと、とんてき協会みんなで、話し合ったので来年には四日市大学の後輩やとんてき協会の皆様で力を合わせてB-1入賞、さらには「四日市とんてき」を全国に広めていってほしいと思います。

総合政策学部4年 坂本 翔平